

令和4年度学校だより

草庵先生に学ぶ宿南小学校

# しゅくなみ



No.12

令和4年9月28日

《 150周年記念秋季運動会 ご参加ありがとうございました! 》

9月18日(日)は、台風到来の心配をよそに、雲の切れ間から青空がのぞき、爽やかな秋風の吹く運動会日和となりました。

150周年の記念運動会を予定通り実施することができました。保護者や地域の皆様にご参加いただき感謝いたします。

「『満身汗流』自分をこえろ 24の絆を力に」のスローガンのもと、一人一人が自分の力を出しきり、みんなで力を合わせて演技や競技に取り組みました。少人数とは思えないほどの熱い思いやエネルギーが、お越しいただいた皆様に伝わったのではないかと思います。表現の一輪車は、一輪車ウィークを設けて

1学期から取り組んできました。夏休み中に練習した子もいました。2学期は、乗れる子は少しでも美しく、補助があれば乗れる子は自乗り練習を、バランスがとりにくい子は運動会の前日まで繰り返し練習しました。本番は、その集大成として皆様に感動を届ける演技を披露することができました。プログラムのほとんどが全校生で行うため、お茶をひと口飲んで入場門に並びました。3年生以上の子どもたちは、準備をして演技をして後片付けをして、また次の準備、、とフル回転で運動会を支えてくれました。

閉会式の後には、PTA三役を中心にPTAの皆様による思いが込められた150周年記念の風船飛ばしをしていただきました。保護者や地域の方々にも風船を持っていただき、参加下さった皆さんの思い出に残る素敵なイベントで締めくくることができました。無事運動会を終えられましたのも、皆様のご協力のおかげです。コロナ対策のため、受付を設け、検温と名簿チェックをお願いしましたが、快く協力いただき本当にありがとうございました。また、入退場や演技中の大きな拍手は演技する子どもたちを後押しする大きな力となりました。子どもたちが、運動会で精いっぱい力を出しきったこの経験を、今後の学校生活に活かしていってくれると期待しています。



<選手宣誓>



<徒競走>



<1・2年親子演技>



<リレー>



<タグとり合戦>



<よーくねらって>



<想いをひとつに>



<記念撮影>

## 《 運動会参観の方からいただいた感想（抜粋） 》

- ・一輪車は、自乗りができるようにと頑張ってお努力してきた過程を見てただけに感動は人一倍でした。大変だったと思いますが、まさに「魅せる」演技だったと思います。
- ・来年も、宿南小でしかできないパフォーマンスを期待しています。
- ・1～6年生まで助け合い、準備から競技まできちんと取り組んでいたのがよかったです。
- ・全力で演技・競技に取り組み、負けても勝っても拍手をして悔しい思いを次の競技にかせていたと思います
- ・高学年が低学年を見つめる目がとても優しく、少人数の学校でよかったなあと思いました。皆が一輪車に乗れるように、そしてあのような揃った演技となるように先生方をはじめ、皆で努力したことが伝わってきて涙が出ました。
- ・全体的に縮小傾向にあるのかと思いますが、構成を工夫していただいたり、子どもたちの頑張りもあったりして、見応えを感じています。
- ・蒸し暑い中、最後までみんなよく頑張っていたと思います。一輪車の演技では、失敗しても近くの子どもが手を差しのべ、あきらめずにできたことも感動しました。
- ・150周年記念の風船とばし、とってもよかったです。遠くまで届いているといいな、と思っています。

## 《 児童朝会 お誕生日のお祝い 》

児童会では、4月から月ごとにお誕生日の人へ写真とメッセージをプレゼントしています。写真は、誕生者の好きな場所で撮影し、パウチをしてリボンをかけてあります。そして一人ずつ、その人のよいところや頑張っていることを言ってもらっています。よいところは、自分ではなかなか気付かないので、とても嬉しい温かい気持ちになります。



誕生者は、お題をもらって、それについて発表します。9月は「秋に食べたい食べ物」でした。

## 《 図書委員会から 》

神戸新聞に連載されている創作童話「悲しきデブ猫ちゃん」の主人公マルは、今兵庫県を旅しています。兵庫五国（摂津、播磨、丹波、但馬、淡路）を巡っている最中です。作者である早見和真さんは、9月の間、取材のため但馬に滞在されているとのことで、図書委員会から以下の2つの提案がありました。

一つは、マルの似顔絵を描くイラストコンクール。もう一つは、おすすめの養父市の場所と食べ物をマルに教えることです。さあ、どんな似顔絵がポストに入るかとても楽しみです。



## 《 クラブ活動 お世話になっています 》

和楽器・囲碁・家庭科、それぞれのクラブで、地域の方に講師としてお世話になっています。子どもたちは、生き生きと活動しています。本当にありがとうございます。

